



彫刻コンクールで学友が大賞を受賞



彫刻家として活躍する米山学友、キムキョンミンさん（2007-08／東京多摩グリーンRC）の作品が、「第27回UBEビエンナーレ」（現代日本彫刻展）で大賞を受賞しました。

同展は、国内で最も古い歴史を持つ野外彫刻国際コンクールです。2年に1度、山口県宇部市で開催され、今回は世界29カ国（日本含む）、277点もの応募作品の中から、キムキョンミンさんの「リメンバー宇部」が大賞を射止めました。外国人女性が大賞を受賞したのは1961年に同展が始まって以来初めてのことです。

キムさんの作品に共通するテーマは“視覚で感じる水音”。「オフィスビルやホテルのエントランスなどにも作品を飾ってもらい、末永く多くの人々に作品を愛していただけたら嬉しい」と、語っていただきました。



UBEビエンナーレで大賞を受賞した「リメンバー宇部」

寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝 —

10月までの寄付金は前年同期と比べて9.0%増（普通寄付金：2.3%増、特別寄付金：14.1%増）、約4,700万円の増加となりました。

今年は財団設立50周年の米山月間であり、50周年記念のご寄付をはじめ多数のご支援を

いただきました。米山学友を含め、多くの方々からのご寄付に心から御礼申し上げます。上期も残り2カ月弱となりました。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018 学年度奨学金申し込み状況

2018 学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校534校（前年度532校）から1,355人（1,358人）が推薦されました。被推薦者の国籍・地域は、中国53.5%（51.5%）、ベトナム11.7%（11.0%）、韓国9.4%（11.9%）、そのほか、台湾、マレーシア、ネパール、インドネシアの順となっています。近年ベトナムの増加が著しく、今回は初めて、申し込み段階で韓国を越えて国籍別の第2位となりました。

被推薦者の奨学金別応募状況は、博士課程20.5%（20.8%）、修士課程42.7%（41.0%）、

学部課程35.0%（36.5%）、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、5地区11校から計24人の応募がありました。現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には9地区14クラブから、また、促進期間中の「海外応募者対象奨学金」（個人応募）には、有効申込数77件の応募がありました。

11月中旬に各地区へPDF化した応募書類を郵送し、2月初旬までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用573人枠（2017年11月現在）が決定します。

各地の地区大会で米山奨学生・学友が活躍

第2510地区 10月14～15日に函館市で開催された第2510地区（北海道）の地区大会では、場外に設けられた地区米山記念奨学委員会のテントで、米山のポスター展示やパンフレット配布、ビデオ上映などが行われました。

15日には、米山奨学生8人が早朝から集合してドリンクサービスを実施。当日は、快晴に恵まれたものの寒風吹きすさぶ中、奨学生たちは「米山奨学生です」「コーヒーをどうぞ」と、会員一人ひとりに笑顔で声をかけ、準備したコーヒー1,300杯、ジュース200杯が無くなるほどの盛況ぶりでした。「会員の皆様に、普段なかなか会う機会のない米山奨学生とふれ合っただく、とても良い機会になった」と、同委員会では、手応えを実感しています。



第2610地区 10月28日～29日に加賀市で開催された第2610地区（石川県・富山県）の地区大会には、米山学友でタイ・ポーサテッドナコンシーRC会員のテムラック・チャオさん（1993-95/金沢RC）がホームカミングで招かれ、スピーチをしました。



帰国後、日タイ両国間の事業投資交渉やコンサルティングを行う会社を設立し、ロータリアンとなったチャオさんは、クラブ会長となったのを機に、世話クラブである金沢RCと再び縁を繋いで、協同の国際奉仕プロジェクトに尽力。また、タイ日人材育成協会の会長として、すでに400人の学生を日本に送り出したことを報告しました。途中、チャオさんが感極まって言葉を詰まらせた時には、会場から「頑張れ！」と声援が送られる場面も。「これからもタイと日本の友好親善を深めるために、精一杯努めたい」と力強く締めくくったチャオさんに、会場から大きな拍手が送られました。

立し、ロータリアンとなったチャオさんは、クラブ会長となったのを機に、世話クラブである金沢RCと再び縁を繋いで、協同の国際奉仕プロジェクトに尽力。また、タイ日人材育成協会の会長として、すでに400人の学生を日本に送り出したことを報告しました。途中、チャオさんが感極まって言葉を詰まらせた時には、会場から「頑張れ！」と声援が送られる場面も。「これからもタイと日本の友好親善を深めるために、精一杯努めたい」と力強く締めくくったチャオさんに、会場から大きな拍手が送られました。

子どもの学力向上を願って — ミャンマー米山学友会 —

今年2月に創立したミャンマー米山学友会が10月20日、現地の小中学校で成績優秀者への表彰式を開きました。支援活動のためミャンマー訪問中の京都西RC会員も同行しました。

表彰されたのは小学1年生～中学4年生の各学年成績上位者で、自転車や学用品が贈呈されました。学友会では、教育に熱心でありながら資金不足に悩む学校の窮状を知って支援を始め、9月には貯水タンクを設置するための寄付もしています。タンシンナイン会長（2003-05/東京調布RC、現・東京米山ロータリーEクラブ会

員）は「こうした表彰は学校始まって以来のことと、大変喜んでもらえました。自転車を見た生徒は、信じられないという面持ちでした。これを機に勉学に励み、学力の向上につながればうれしい」と語りました。



もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は11月末まで



普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は11月30日です。

当会ホームページのメニュー、**寄付金について** → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。特別寄付金については来年1月下旬にクラブ経由で送付しますので申請不要です。